

**団体名：宇都宮市立城山西小学校**

**代表者：手塚 英男**

**所在地：栃木県宇都宮市古賀志町**

〔ポイント〕

＜活動の経緯＞

平成15年、小規模特認校の指定を受けたことを契機に、特色ある学校づくりに取り組む中、「安全でおいしい給食」を児童募集の公約の一つに掲げ、PTAや地域の全面的な協力の下、地産地消活動を推進。

【活動の内容】

1. 学校給食

- ・100%地元産の米を始め、地元生産者、卸業者との契約した地元の農産物を学校給食の食材に活用。直接交渉や生産者の顔写真の掲示等、「顔を見ながら」安全、安心な食材を調達。
- ・地域住民やPTAの協力により、平成16年給食農園開設。地区老人会、地域女性の会の協力で、食材となる野菜を栽培。高齢者、女性の人材活用や、児童への農業技術や地域の暮らしの伝承に効果。
- ・調理員による、地元の農産物を使った地域ならではのオリジナルメニューを開発。

2. 学校行事や教科学習における地産地消の推進

- ・農業体験（稲作、さつまいも栽培と販売、県立盲学校との交流学习）を通じた、地域農業への理解促進。

3. イベント等における地産地消の推進

- ・そば打ち、餅つき、野菜販売等、地域の農産物を紹介する活動。
- ・地域郷土食（耳うどん）の再現と提供。

【活動の特色】

古くから農業がさかんである地域の特性を生かし、地域コミュニティの中心的役割を担ってきた小学校を中心とする地域密着型の地産地消の推進。市民協働実践モデルとしての評価も高く、将来性のある活動を展開。